

平成24年1月5日

お得意様各位

株式会社 タテムラ
システムサービス課
福生市牛浜104

System-V 新個人決算書、法人税・地方税電子申告システム ネット更新について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお取引を賜り誠にありがとうございます。ご

さてこの度、新個人決算書をリリースする運びとなりました。

3月に起きた大震災の影響により、税制改正の延期、複数回の改正、また電子申告も通常8月に行われる内容がこの1月4日になる等、例年通りではなかったことにより新個人決算書プログラム開発の見通しが立たず、お客様には事前のお知らせができなかったことをお詫び申し上げます。

突然のお知らせとなってしまいました。個人決算書プログラムをより使いやすく機能を一新しましたので、今年度より個人決算書作成には【320】新個人決算書プログラムをご利用下さいませようお願い申し上げます。

従来版【300】個人決算書プログラムで入力していたデータは、【320】新個人決算書プログラムを開いた際に自動的に移行しますので引き続きご利用いただけます。（※変換後のデータ確認は必ず行ってください。）

また、確定申告を電子申告する場合、個人決算書の電子申告データ変換は【320】新個人決算書で作成したデータでの変換になりますのでご注意ください。

電子申告システムをお持ちのお客様におきましては、法人税及び地方税の電子申告システムも更新しております。今回の更新により平成23年6月30日以後終了事業年度の電子申告で、新法人税申告書対応の全表変換・送信ができるようになっております。

尚、1月4日にe-Taxソフトもバージョンアップしております。e-Taxを呼び出して更新作業を行って(P.6参照)いただきますようお願い致します。（e-Tax更新を行わないとデータ変換が正しくできませんので必ず行って下さい。）

※平成23年度の所得税確定申告書システム及び、個人決算書を含む確定申告電子申告はまだ行えません。

詳しくは、案内文の更新内容をご一読いただき、ご確認下さいますようお願い致します。今後とも倍旧のお引き立ての程、宜しく申し上げます。

敬具

送付資料目次

※改正保守のご加入(未納含む)に基づき、以下の内容を同封しております。

送付プログラム

プログラムの送付はございません。ネット更新をお願い致します。

取扱説明書

<http://www.ss.tatemura.com/> より確認できます。

案内資料

- ・ System-V ネット更新作業手順 1～2
- ・ 環境設定インストール方法 3～6
- ・ 新個人決算書プログラム データ移行、各変換項目の注意点 7～11
- ・ 電子申告システム更新内容 12

送付内容のお問い合わせ先

送付内容に関するお問い合わせにつきましては、サービス課までご連絡下さいますようお願い致します。尚、保守にご加入のお客様はフリーダイヤルをご利用下さい。

TEL 042-553-5311 (AM10:00～12:00 PM1:00～3:30)

FAX 042-553-9901

以上

プログラム等のネット更新をご希望のお客様には、弊社システムに更新があった場合マルチウィンドウ端末起動時に以下のメッセージを表示するようになっております。

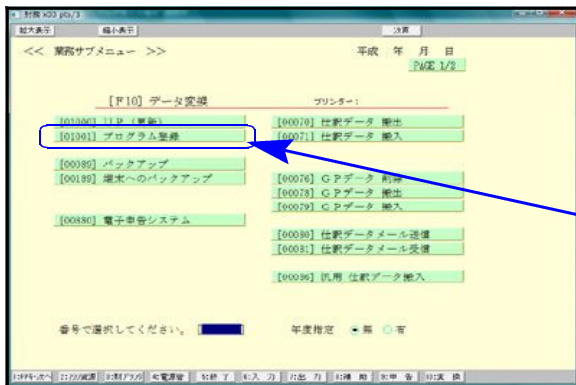
プログラム更新 ○○ 個のファイルが新しくなっています
1000番の4で更新できます

*** 以上を読んだら Enter を押してください ***

また、同時に更新内容につきましては、あらかじめご登録いただいているメールアドレスに更新のお知らせを送信致します。

上記メッセージを表示した場合、System-Vの更新(サーバー側)及び電子の環境更新(各端末側)がございますので、以下の作業手順に従って更新作業を行って下さい。

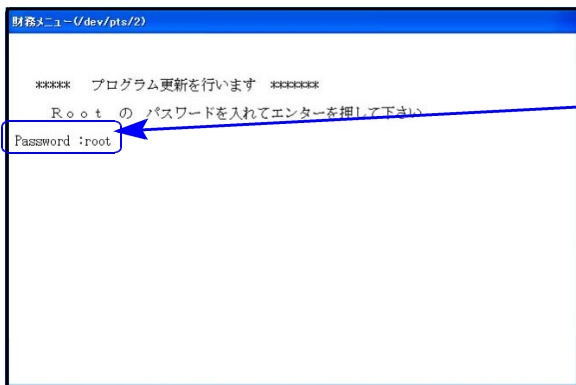
サーバーの更新方法



- ① [F10] データ変換より、[1000] U P (更新) を選択します。

初期メニューより [F10] データ変換を選択します。[1000] U P (更新) を呼び出します。

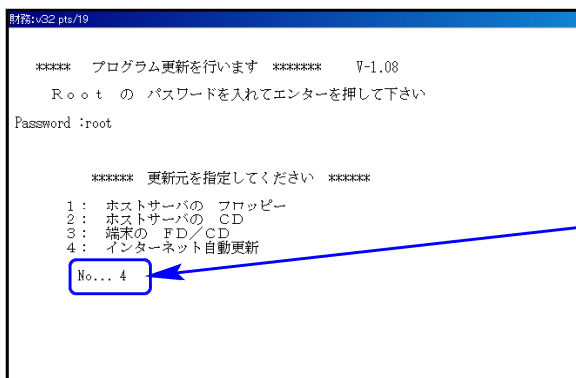
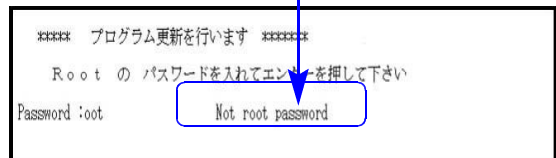
1000 **Enter** を押します。



- ② 左図の画面を表示します。

Enter を押します。
(rootは入力しません)

r o o t は消さないように注意して下さい。
※パスワードを消した場合エラーを表示します。



- ③ 左図の画面を表示します。

『4』インターネット自動更新を選択します。

4 **Enter** と押します。

```

財税:V32 pte/19
***** プログラム更新を行います ***** V-1.08
Root の パスワードを入れてエンターを押して下さい
Password :root

***** 更新元を指定してください *****
1 : ホストサーバの フロッピー
2 : ホストサーバの CD
3 : 端末の F D / C D
4 : インターネット自動更新

No... インターネットで更新できるか調べています
Check host= www.tatemura.co.jp/loginck.html Next
Check host= taml.net/loginck.html Next
Check host= www.tatemura.net/loginck.html 4
Find listURL http://www.tatemura.com/cgi/lxlist.cgi
Check host= www.tatemura.com/cgi/lxlist.cgi Find Data
FileCheck from http://www.tatemura.com/cgi/prdown/tub60/download.cgi 4

```

④ 左図の画面を表示します。

『インターネットで更新できるか調べています』のメッセージを表示します。チェック終了後にインストールが始まりますので終了までそのままお待ち下さい。

転送作業は全システムを見比べ、差分をインストールしております。インターネットの環境にもよりますが、『10～20分』かかります。

```

財税:V32 pte/19
Date: Wed, 10 Feb 2010 02:23:40 GMT
Server: Apache
Check: cc98c1d1b5f09049885dca0aa9ed9d20
Content-Length: 494719
Connection: close
Content-Type: application/octet-stream bin
8
構築情報ファイル をインストールします[y/n/a/l]? ...A
HTTP/1.1 200 OK
Date: Wed, 10 Feb 2010 02:23:42 GMT
Server: Apache
Check: 004737b4004f727c6ed87d62b8c4b63e
Content-Length: 12133
Connection: close
Content-Type: application/octet-stream bin
9
G P の初期値 をインストールします[y/n/a/l]? ...A
0
***** 234 ファイルを更新しました *****
F 5 を押してください■

```

⑤ 転送作業が終了すると、更新したファイル数を表示します。

⑥ **F 5**を押して更新画面を終了します。

⑦ サーバーを再起動して下さい。

転送後のバージョン確認

ご契約に合わせて、下記のプログラムを **F 9** (申告・個人・分析)の2頁目、**F 10** (データ変換)の1頁目に表示します。

PG番号	プログラム名	HD-VER	備 考
320	新個人決算書プログラム	V-1.00	新システムにすることにより、より使いやすくなりました。 【300】従来版プログラムで作成していたデータは、新プログラムでユーザコード・年度を指定すると自動的に移行しますので、そのままご利用いただけます。(※変換後の確認をお願いします) 電子申告を行う場合は、新プログラムでデータ入力して下さい。従来版データは変換できませんのでご注意ください。
880	電子申告システム	V-1.13	・法人税申告書の平成23年6月30日以後終了事業年度の電子申告に対応致しました ・地方税電子申告eLTAX 平成23年12月19日サービス開始団体の更新に対応致しました。

※【880】電子申告をご利用のコンピュータのみP. 3～P. 6の作業を行って下さい※

電子申告 環境設定インストール方法

- インストールを行う際は、全てのプログラムを終了して下さい。(マルチウィンドウ端末も閉じて下さい。) 終了せずインストールを行うとプログラムが正常に動作しません。
- 下記に沿って各端末機でインストール作業を行って下さい。

① タテムラホームページを開き、「サービス・サポート」をクリックします。



② 「ダウンロード」をクリックします。

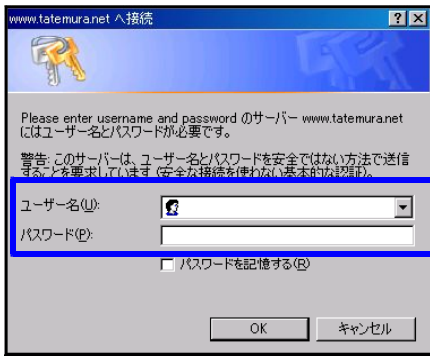


③ 左図の画面が開きます。
「L Xシリーズのダウンロードはこちらから」をクリックします。



④ 左図の画面を表示します。
下へスクロールして「System-Vのお客様はこちらから」をクリックします。





⑤ 左図を表示します。

更新のお知らせメールに記載されている

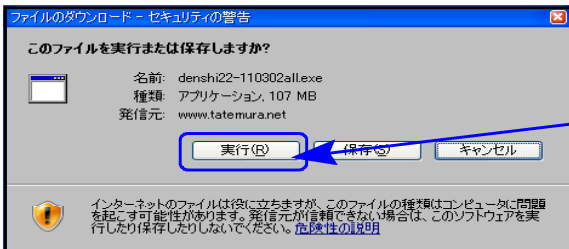
ユーザ名 『 XXXX 』
パスワード 『 XXXX 』

を入力して、OKをクリックします。



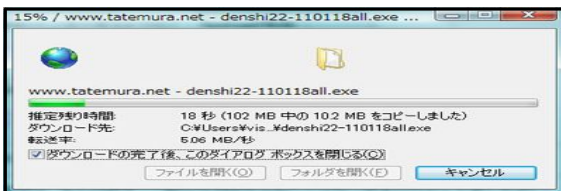
⑥ 左図の画面を表示します。

電子申告システム環境設定
『denshi23.exe』を選択して
インストールします。



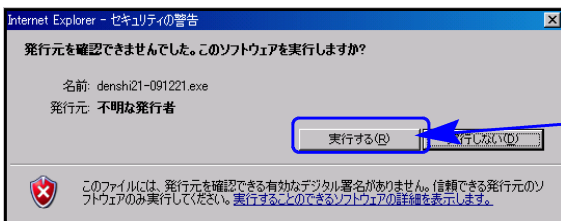
⑦ 左図の画面を表示します。

実行 を選択して下さい。



⑧ 左図の画面を表示します。

次の画面を表示するまでお待ち下さい。



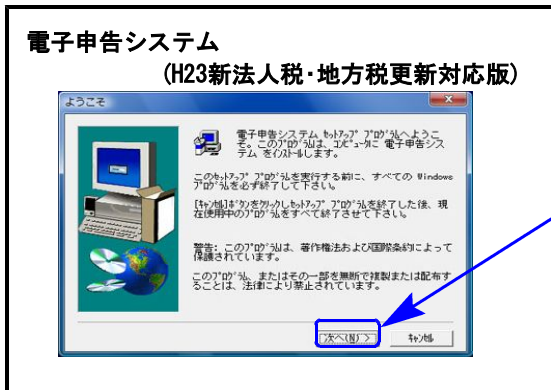
⑨ 左図の警告画面を表示した場合は

実行する を選択して下さい。

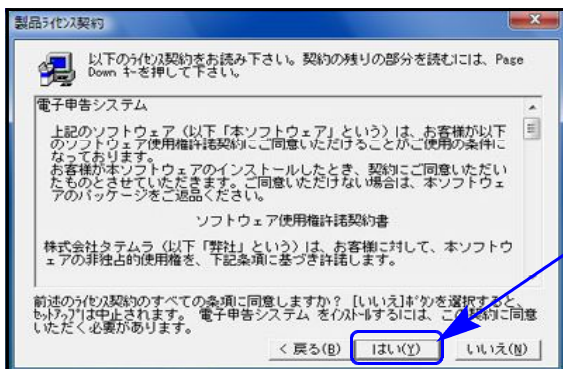


⑩ 左図の画面を表示します。

しばらくお待ち下さい。



⑪ 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「次へ」に合わせて
左ボタンを1回押します。(クリック)

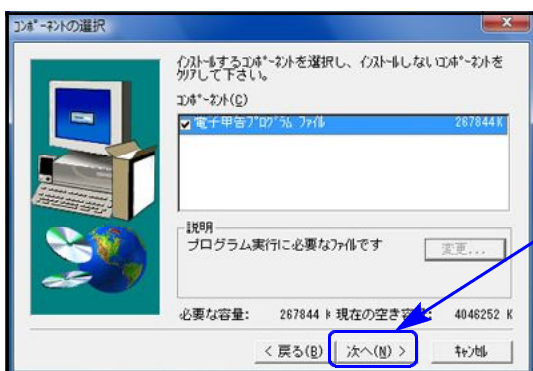


⑫ 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「はい」に合わせて
左ボタンを1回押します。(クリック)



⑬ 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「次へ」に合わせて
左ボタンを1回押します。(クリック)

しばらくお待ち下さい。



⑭ 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「次へ」に合わせて
左ボタンを1回押します。(クリック)

更新作業が始まります。
そのまましばらくお待ち下さい



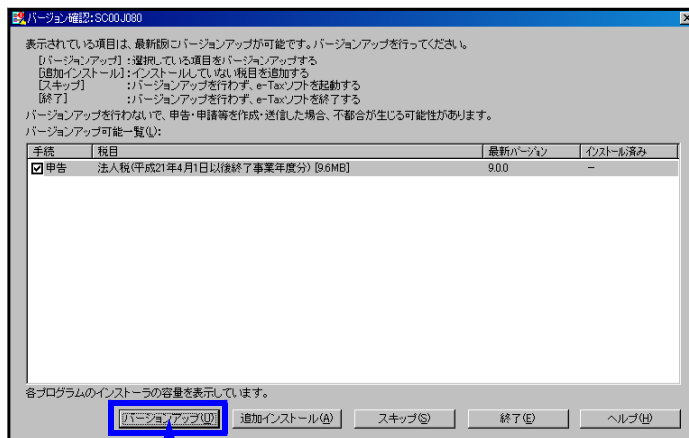
⑮ 「セットアップ完了」と表示したらマウスの矢印を「完了」に合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)

以上で環境設定のインストール作業は終了です。

e-Taxソフトも更新が必要です

電子申告を行うにあたって、e-Taxソフトは不可欠です。平成24年1月4日にe-Taxソフトでも更新がありましたので、バージョンアップ作業を行って下さい。

1. デスクトップ上のe-Taxソフトのアイコンをダブルクリック。
2. インターネット接続をOK→国税庁からのお知らせをOK、にして進んで下さい。



3. 上記の画面が表示されましたら、「バージョンアップ」をクリックし、画面に従ってバージョンアップ作業をお願い致します。

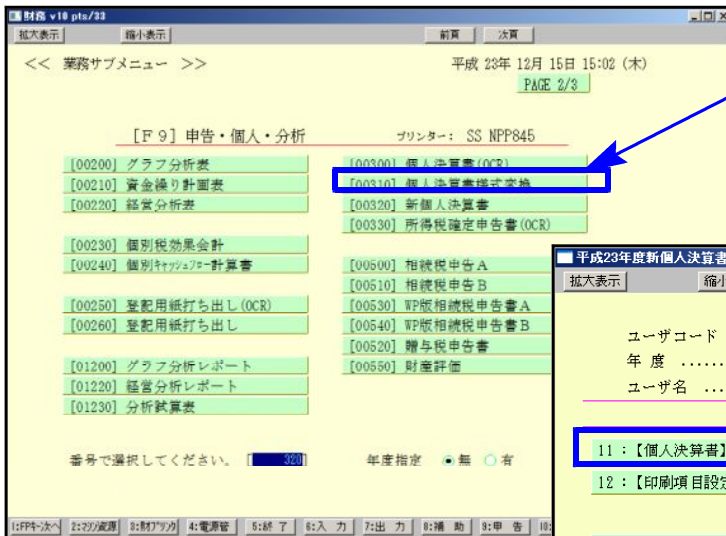
新個人決算書プログラム ～[300]個人決算書→[320]新個人決算書へデータの移行～ 12.01

新個人決算書プログラムをリリースする運びとなりました。

平成23年の申告より新個人決算書にて入力を行って頂きますようお願いいたします。事前のお知らせができず急なリリースとなってしまいましたが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

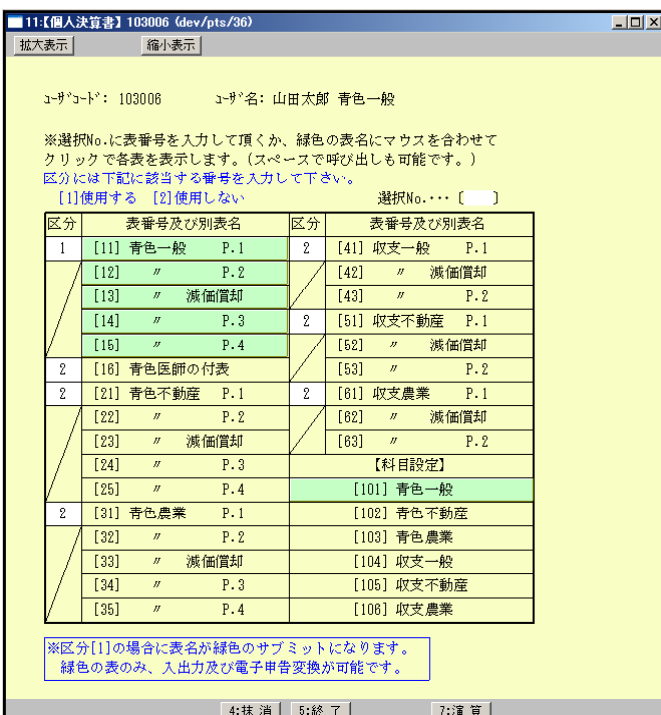
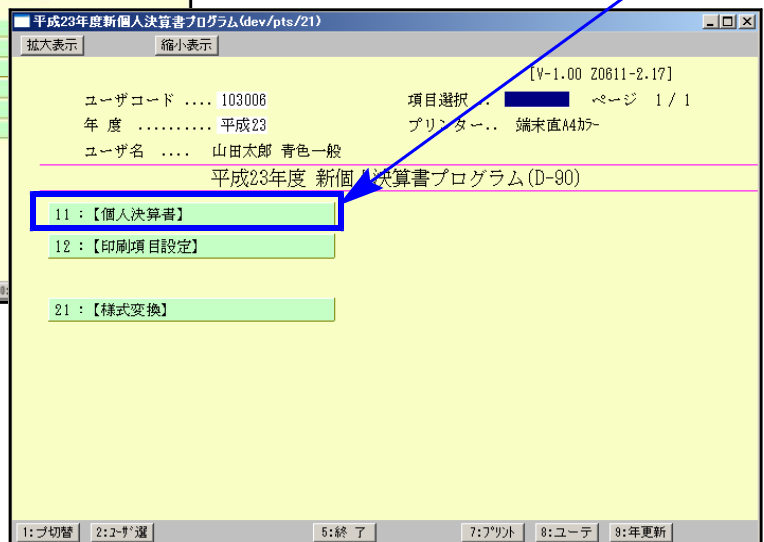
[320]新個人決算書プログラムでユーザコードと年度を指定して[11]個人決算書を開くだけで[300]従来版個人決算書プログラムのデータを自動変換します。

尚、[300]個人決算書プログラムも従来通り使用は可能ですが、確定申告書システムでの個人決算書データ読込、及び電子申告への変換は、平成23年の申告より[320]新個人決算書データが対象となりますのでご注意ください。



1. F9 (申告・個人・分析)の2頁目の[320]新個人決算書を呼び出します。

2. ユーザコードと年度を指定し、[11]個人決算書を呼び出します。



3. 左図の個人決算書のメニュー画面を表示します。

[300]個人決算書を元に、データのある表の区分が『1』となります。

※[300]の各様式データは変換しますが、所得金額が空欄の場合は区分『1』になりません。データ入力を行う場合は手動で『1』にして下さい。

変換した表のデータにつきましては次頁の手順で確認して下さい。

4. 各表のP.1を呼び出します。

下図のように住所欄等が空欄の場合は、GP申告情報登録にデータがないことが考えられます。その場合は **8:GP申告**(F8) を押して下さい。

平成 年分所得税青色申告決算書(一般用)

住所	フリガナ	事務所所在地
事業所所在地	電話番号(自宅)	氏名(名称)
業種名	加入団体名	電話番号
フリガナNo	事業年度	会計期間
提出年月日	平成 24 年 3 月 16 日 納税者番号	平成 年 月 日

科目	金額(円)	科目	金額(円)	科目	金額(円)
売上(収入)金額(雑収入含む)	39,280,000	消耗品費	378,000	繰倒引当金	84,480
期首商品(製品)棚卸高	3,705,000	減価償却費	1,582,248	各種引当金	
仕入金額(製品製造原価)	27,598,000	福利厚生費	178,000	計	84,480
小計[2]+[3]	31,301,000	給料賃金	2,825,000	専従者給与	1,200,000
期末商品(製品)棚卸高	8,814,000	外注工賃		繰倒引当金	74,140
差引原価[4]-[5]	27,487,000	利子割引料	128,000	繰入金	
		地代家賃	120,000		

2:次頁 3:会計誌 4:抹消 5:終了 7:演算 **8:GP申告**

3:個人登録 103006 (dev/pts/44)

ユーザコード: 103006 ユーザ名: 国税太郎 青色一般

● 個人登録 「※」は電子申告必須項目なので電子申告する場合は必ず入力して下さい。

事業年度 ※ 平成 23 年 1 月 1 日 ~ 平成 23 年 12 月 31 日 年分 ※ 平成 23 年

課税期間(消費税) ※ 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 当期月数 12

会計データ期首年 平成 年 会計期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

中間申告期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

提出年月日 平成 24 年 3 月 16 日 税務署名 ※ 税務署

申告区分 青色 白色 納税者番号 10300523

利用者識別番号 ※ 利用ID(地方税) ※

フリガナ(半角) かつ/太郎 敬称 御中 様 殿

氏名 ※ 国税太郎 宛 先

納税地 自宅 事業所 事務所 居所 ← 確定申告への転記が変わります

郵便番号 - - 電話番号 () -

フリガナ(半角)

住所 ※ ○○市○○町○○○

郵便番号 - - 電話番号 () -

フリガナ(半角)

住所 同上

業種名 ○○小売 性別 男 女

フリガナ(半角) 生年月日 ※

1:前表 2:次表 4:抹消 5:終了 7:演算 8:電マック

5. GP申告を開くと左図のように [300]個人決算書よりGP申告にデータを転記します。

内容を確認し、必要な項目へデータを追加して **終了**(F5) で個人決算書へ戻ります。

平成 23 年分所得税青色申告決算書(一般用)

住所	フリガナ	事務所所在地
事業所所在地	電話番号(自宅)	氏名(名称)
業種名	加入団体名	電話番号
フリガナNo	事業年度	会計期間
提出年月日	平成 23 年 1 月 1 日	平成 年 月 日

科目	金額(円)	科目	金額(円)	科目	金額(円)
売上(収入)金額(雑収入含む)	39,280,000	消耗品費	378,000	繰倒引当金	84,480

6. 左図のように住所欄を表示します。

※表示が出ている場合はP.9~の変換時の注意点を参照し、数字等データを確認して下さい。

● 各変換項目の注意点

[300]従来版個人決算書→[320]新個人決算書へのデータ自動変換での各項目の注意点をまとめました。

新個人決算書プログラムにてデータ確認の際、ご参照下さい。

[各様式共通]

給料賃金・専従者の給与欄の「従事月数」

12以上の数字 ⇒12 とします。(※電子申告でエラーするため)

[各様式]

青色一般 ※減価償却除く			
項目名		変換注意内容	
P1	売上収入金額	[1]	上段に金額があった場合は、上書きへ転記 通常計算ではP.3より転記しますが、上書きへ転記 通常計算ではP.3より転記しますが、上書きへ転記
	仕入金額	[3]	
	利子割引料	[22]	
	地代家賃	[23]	
P2	貸倒：本年繰入額	[4]	変換はせず、自動計算です。金額が違う場合は手入力して下さい。 変換はせず、青色不動産より転記します。金額が違う場合は手入力して下さい。
	不動産所得金額	[6]	
	青色申告特別控除前の所得金額	[7]	手入力フラグに『1』があった場合は上書きへ転記 手入力フラグに『1』があり金額が空欄の場合は『.』を転記 手入力フラグに『1』があった場合は上書きへ転記 手入力フラグに『1』があり金額が空欄の場合は『.』を転記
	青色申告特別控除	[8]	
	青色申告特別控除	[9]	
印刷項目設定に印刷するしないのフラグを転記しています。 申告年度・プリントNo・P.1.2番号等・P.4貸借対照表の印刷有無			
青色一般—医師の付表			
項目名		変換注意内容	
表裏	2.自由診療割合調整率		1.診療日数による割合又は2.収入による割合いずれか大きい方へ調整率がつきます。違う場合は手直しして下さい。 80.75.85の場合に変換します。それ以外は空欄 選択して下さい。 金額が有りの時に、『転記する場合はチェックして下さい』にチェックが付きます。
	口特典経費分 イ)損益計算書[38]		
青色不動産 ※減価償却除く			
項目名		変換注意内容	
P1	賃借料	[1]	上段に金額があった場合は、上書きへ転記 通常計算ではP.3より転記しますが、上書きへ転記 通常計算ではP.3より転記しますが、上書きへ転記 手入力フラグに『1』があった場合は上書きへ転記 手入力フラグに『1』があり金額が空欄の場合は『.』を転記
	礼金・権利金等	[2]	
		[3]	
	借入金利子	[9]	
	地代家賃	[10]	
P2	青色申告特別控除	[22]	
P2	賃貸契約期間		元号自年48～64が入った場合は昭として転記 月額金額は新システムより2段書き可 変換時は下段へ転記
P3	借入金利子の内訳		15→10行としました。
印刷項目設定に印刷するしないのフラグを転記しています。 申告年度・プリントNo・P.1.2番号等・P.4貸借対照表の印刷有無			

青色農業 ※減価償却除く			
項目名		変換注意内容	
P1	販売金額	[1]	上段に金額があった場合は、上書きへ転記
	家事・事業消費金額	[2]	
	雑収入	[3]	
	農産物の棚卸高 期首	[5]	
	〃 期末	[6]	
	雇人費	[22]	
	農産物以外の棚卸高 期首	[32]	
	〃 期末	[33]	
経費から差し引く果樹牛馬等	[34]		
利子割引料	[23]	通常計算ではP.3より転記しますが、上書きへ転記	
地代・賃借料	[24]	通常計算ではP.3より転記しますが、上書きへ転記	
P3	F果樹・牛馬等 取得・生産等の年月日	年号の英数・年・月・日「例:Hyymdd」すなわち「H230103」ならば変換。※上記入力方法でない場合は空欄となります。	
P4	青色申告特別控除 前の所得金額	[ト]	手入力フラグに『1』があった場合は上書きへ転記 手入力フラグに『1』があり金額が空欄の場合は『.』を転記
	青色申告特別控除	[リ]	手入力フラグに『1』があった場合は上書きへ転記 手入力フラグに『1』があり金額が空欄の場合は『.』を転記
印刷項目設定に印刷するしないのフラグを転記しています。 申告年度・フリップNo・P.1.2番号等・P.4貸借対照表の印刷有無			
収支一般 ※減価償却除く			
項目名		変換注意内容	
P1	地代家賃	[15]	通常計算ではP.2より転記しますが、上書きへ転記
	利子割引料	[16]	通常計算ではP.2より転記しますが、上書きへ転記
P2	地代家賃住所・氏名欄	漢字23文字→21文字へ	
印刷項目設定に印刷するしないのフラグを転記しています。 申告年度・フリップNo ※P.1番号は印刷する場合にチェックを付けて変換します。			
収支不動産 ※減価償却除く			
項目名		変換注意内容	
P1	賃借料	[1]	上段に金額があった場合は、上書きへ転記
	礼金・権利金等	[2]	
	名義書換料等	[3]	
	地代家賃	[9]	
	借入金利子	[10]	
P2	修繕費	[ハ]	通常計算ではP.2より転記しますが、上書きへ転記
	賃貸契約期間		元号自年48～64が入った場合は昭として転記 月額金額は新システムより2段書き可変換時は下段へ転記
P2	修繕費の住所・氏名		1段目→1段目 2段目→3段目 1段目→1段目 2段目→3段目
	地代家賃の住所・氏名		賃借物件は1行文字数を9文字から8文字とし、上下段データを3段に分割して転記。データ変換の場合は、詰めて変換します。
印刷項目設定に印刷するしないのフラグを転記しています。 申告年度・フリップNo ※P.1番号は印刷する場合にチェックを付けて変換します。			
収支農業 ※減価償却除く			
項目名		変換注意内容	
P1	販売金額	[1]	上段に金額があった場合は、上書きへ転記
	家事・事業消費金額	[2]	
	雑収入	[3]	
	農産物の棚卸高 期首	[5]	
	〃 期末	[6]	
	雇人費	[8]	
	小作料・賃借料	[9]	
	経費から差し引く果樹牛馬等	[ラ]	
P2	F果樹・牛等 取得・生産等の年月日	年号の英数・年・月・日「例:Hyymdd」すなわち「H230103」ならば変換。※上記入力方法でない場合は空欄となります。	
印刷項目設定に印刷するしないのフラグを転記しています。 申告年度・フリップNo ※P.1番号は印刷する場合にチェックを付けて変換します。			

各減価償却		変換注意内容
項目名		
取得年月		年が48～64は元号を昭へ、それ以外は平として転記
償却方法	0. 旧定額	12: 旧定額 ※空欄も旧定額法として変換 ※期首簿価が取得価額×0.05以下は5%均等へ
	1. 旧定率	15: 旧定率 ※期首簿価が取得価額×0.05以下は5%均等へ
	2. 5年均等	16: 5%均等
	3. 定額	11: 定額
	4. 定率	13: 定率
	5. 改定償却	14: 改定償却
	6. 均等	19: 均等
	7. 一括	20: 一括
	8. 少額	21: 少額
	9. 手入力	23: 手入力※償却方法の下段に文字を転記
保証額		変換はせず、自動計算です。23: 手入力のみ変換します。
改定取得価額		5. 改定償却の場合、償却基礎金額と同額を改定取得価額へ転記
期首簿価		期首簿価へ転記
[口] 償却基礎金額		口償却基礎金額の上書きへ転記※自動計算する場合は金額を一端削除して下さい。
耐用年数		耐用年数へ転記 ※2～100までそれ以外は削除-電子申告でエラーの為
月数		月数へ転記 ※12月以上の場合は12となります。
償却率・改定償却率		償却率・改定償却率は耐用年数を見て自動計算します。 ※違う場合は償却率を手入力して下さい。-改定は手入力不可 ※6. 均等償却の場合は分子分母を自動計算します。 率で計算する場合は、償却方法は定額(無)無形固定資産を選択して下さい。
[木] 普通償却費		自動計算 ※計算フラグが「1」の場合上書きへ転記 ※計算フラグが「2」の場合、売却廃棄へチェックが付きます。
[へ] 割増特別償却		割増特別償却へ転記
[チ] 事業専用割合		事業専用割合を転記 ※空欄のデータは「0」として転記-新システムでは100が自動的に入ります。(手直し可)
[リ] 本年分必要経費		自動計算 計算フラグが『1』の場合上書きへ転記 計算フラグに『1』があり金額が空欄の場合は『.』を転記
摘要		摘要へ転記 ※各収支の文字数8文字→7文字-青色と統一(様式変換の為)
減価読フラグ		減読みフラグそのまま変換

法人税電子申告

- * [882] 法人・送信データ作成で、新法人税申告書対応の全表が平成23年6月30日以後終了事業年度分データでも変換・送信できるようになりました。

[51:新法人税送信用データ変換]

平成23年6月30日以後終了事業年度分のデータ変換について

e-Tax(1月4日更新)で平成23年6月30日以後終了事業年度分の申告が全表可能になりましたので、弊社システムもこれに対応致しました。
変換時の選択は表示せず、事業期間の至年月日のみで変換するようになりました。

地方税電子申告

平成23年12月19日eLTAXサービス開始団体(八王子市、武蔵野市、狛江市等)に対応致しました。